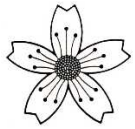
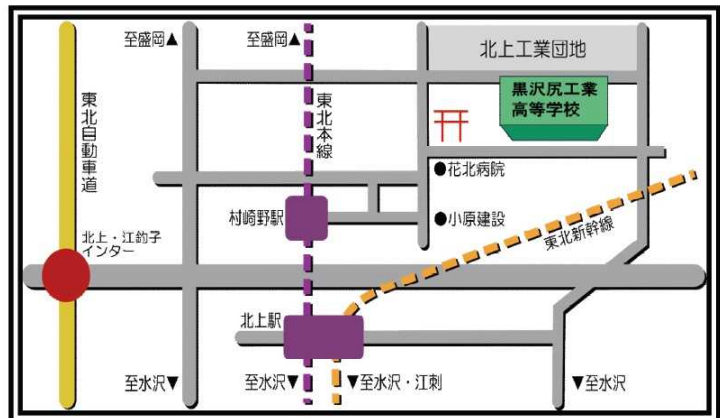


校訓▶敬愛 創意 協力 責任 黒工5原則▶あいさつをする きまりを守る 授業に集中する 部活を頑張る 資格を取る



# 岩手県立黒沢尻工業高等学校

創立▶昭和 14 年 4 月 8 日  
 開校記念日▶10 月 23 日  
 所在地▶〒024-8518  
 岩手県北上市村崎野 24 地割 19 番地  
 (JR 東北本線村崎野駅より徒歩約 15 分)  
 電話▶0197-66-4115  
 FAX▶0197-66-4117  
 Web▶<http://www2.iwate-ed.jp/kst-h/>  
 学校長▶千葉 治 (ちば おさむ)



## 1 設置学科・令和3年度生徒数

学科名	設置年度	1年	2年	3年
		( ) は女子内数		
機 械 科	昭和 14 年	40	27	38 (5)
電 気 科	昭和 14 年	26 (1)	34 (2)	39 (2)
電 子 科	昭和 59 年	25 (3)	27 (2)	25 (3)
電子機械科	平成 2 年	38 (1)	36 (1)	39 (1)
土 木 科	昭和 54 年	30 (2)	34 (1)	35 (3)
材料技術科	平成 6 年	16 (1)	20 (3)	31 (4)

## 2 本校の目指す生徒像

- ・地域や岩手の未来を担う生徒
- ・知・徳・体のバランスのとれた生徒
- ・工業人としての自覚と自律心を持った生徒



## 3 令和4年度の入学者選抜方法について

「令和4年度募集定員及び選抜方法等は、令和3年10月の決定後に掲載します。」

※参考 (令和3年度入学者選抜方法)

(1) 推薦入学者選抜 (令和3年1月27日実施)

学科名▶全学科 (機械科、電気科、電子科、電子機械科、土木科、材料技術科)

募集定員▶各科6名 (各科ごとに40名のうち15%)

推薦基準▶次の1~3の条件を満たした上で、4又は5の条件に該当する者

- 1 本校の教育を受けるに足る能力・適性を持つ者
- 2 基本的な生活習慣が身に付いている者
- 3 当該学科に対する志願理由が明確かつ適切で、入学後も意欲的な高校生活を送ることが期待される者
- 4 運動能力に優れ、入学後も本校の指定する部活動\*への入部を希望する者 (応募資格A)  
 ただし、当該部活動での活動を義務づけるものではない。

※ 指定する部活動

ボクシング、弓道、水泳 (ただし水球)、バスケットボール、ラグビーフットボール、ボート、陸上競技、バレーボール、ソフトテニス、硬式野球

- (1) 県選抜選手、県選抜候補選手に選ばれた者
- (2) 中学校体育連盟主催の大会で、県大会以上に出場した者
- (3) 上記(1)~(2)に該当しないが、同等の力量を有している者
- (4) 「いわてスーパーキッズ」のプログラム修了見込みの者
- 5 工業を通じて地域や岩手の未来を担っていこうとする意欲にあふれ、志望する学科に対する目的意識が極めて明確で、自己の進路に高い志を持つ者 (応募資格B)

選抜方法▶

- |  |
|--|
| 1 調査書 (135点) … 各教科の学習の記録 (1・2・3年の9教科の評定合計) |
| 2 実績等 (150点) … 調査書及び志願理由書に記載されている内容        |
| 3 面接 (115点)                                |
| <合計 400点> ※ 合計点をもとに、総合的に判断して選抜する           |

一次選考の有無▶無

#### (2) 一般入学者選抜 (令和3年3月9日実施)

学科名▶全学科 (機械科、電気科、電子科、電子機械科、土木科、材料技術科)

定員▶各科 40名 (ただし、推薦入学者選抜の合格者数を減ずる)

学力検査 (500点) ▶A選考のみ (傾斜配点なし)

## 4 特色ある教育活動 (学習活動、部活動)

本校には全日制6科があり、3年間を通じて普通科目と工業の専門科目を学び、工業技術・技能の基礎基本を習得していきます。なかでも「実習」は工業高校ならではの授業で、実際の作業を通してさまざまな技術や人間としての基本的な態度まで学んでいきます。3年生になると「課題研究」という科目で、自分でテーマを見つけ調査し、製作や実験を行うことで、問題解決の力を身に付けていきます。その他、各科ごとに特色ある授業内容で興味を持って専門知識を身に付けていける学校です。その成果として、各種国家資格 (技能検定・電気工事士・測量士補など) では高い合格率を誇っております。また地域の小中学校の児童・生徒を対象にした出前授業も行っています。

部活動もたいへん活発で、近年は、南部九州インターハイにボクシング部・水球部・陸上競技部・ボート部が出場しました。また、茨城国体ではバレーボール部のビーチバレーボール競技をはじめ、複数の部から岩手県代表選手としての出場がありました。ラグビー部は大阪府の花園ラグビー場で開催される全国高等学校ラグビーフットボール大会に令和元年度まで5年連続で岩手県代表として出場しました。

部活動以外にも、工業高校生の技能競技「ものづくりコンテスト」では、旋盤作業において東北大会や全国大会にも出場しています。

チャレンジ精神で、数多くの資格に挑戦し、県や全国から表彰を受ける生徒も多数います。他に、若い力を発揮できる場がいたるところにあります。目的を持って取り組めば人間として大きく成長して社会に飛び立っていける学校です。

また、高等学校の卒業生を対象とした2年課程の専攻科を、平成19年4月に開設しました。全国的にも工業高校の専攻科は少なく、岩手県では初めて本校に設置されました。専攻科は、高校で学んだ工業に関する知識を深め、難関の国家資格を取得し、地域が求める高度な技術を身に付けた実践力のある技術者の育成を目指しています。

## 5 校長先生から一言

本校のスローガンは、「夢を持ち 夢を追い 夢をかなえる」です。本校で夢を追ってみませんか。そして地域や岩手の未来を担う人になりましょう。

## 6 授業料等学納金（令和3年度）

	入学料 入学時のみ	PTA会費 年10回分納	教育振興費 年10回分納	体育後援会費 年10回分納	同窓会費 年10回分納	生徒会費 年10回分納	諸費 1年は入学時 他は学科による	1年間合計 学科による	3年間合計 学科による
1学年	5,650	3,500 350×10回	14,500 1,450×10回	30,000 3,000×10回	3,500 350×10回	16,500 1,650×10回	63,000～ 75,000	137,000～ 149,000	353,000～ 400,000
2学年		3,500 350×10回	14,500 1,450×10回	30,000 3,000×10回	3,500 350×10回	16,500 1,650×10回	42,000～ 54,000	110,000～ 122,000	
3学年		3,500 350×10回	14,500 1,450×10回	30,000 3,000×10回	3,500 350×10回	16,500 1,650×10回	38,000～ 61,000	106,000～ 129,000	

## 7 公立高等学校就学支援金制度に関する県教育委員会からのお知らせ

- (1) 平成26年度から県立高校の授業料に高等学校就学支援金制度が導入されました。
- (2) この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。
- (3) 一定の所得未満とは、保護者等の所得について、以下の算定式により計算した額が、30万4,200円未満の場合です（年収目安910万円未満）。  
**【算定式】** 課税標準額（課税所得額）×6% - 市町村民税の調整控除の額
- (4) 手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定ですが、制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度（新制度）について」をご覧ください。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/mushouka/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/index.htm)

**【参考】** 県立高校授業料・通信制受講料

全日制（月額）9,900円    定時制（月額）2,700円    通信制（1単位）190円